

新国立競技場 景観モニタージュ写真の瑕疵をめぐる経過

- 8月 3日 日本共産党都議団は、日本スポーツ振興センターに対し、新国立競技場の基本設計説明資料で示された景観モニタージュ写真はわずか6枚にすぎず、かつ影響の少ない写真を選んでいる懸念があることから、多数の地点からの景観モニタージュ写真の公表を求める「質問状」を提出。
- 8月 27日 日本スポーツ振興センターは8月3日付「質問状」への回答として、東京都の景観協議に提出した40地点からの景観モニタージュ写真を、日本共産党都議団に提出。党都議団は28日、記者会見とホームページでこの写真を公表。
- 9月 1日 公表されたモニタージュ写真を見た近隣のマンション住民の方より、A-1およびA-11のモニタージュについて、新競技場の屋根や人工地盤の高さが周辺の建物などに比べて低いのではないかとの通報が、党都議団にメールで寄せられる。
- 9月 2日～ 党都議団として住民・建築家の協力を得て現地調査を行うとともに、設計上の人工地盤の高さまで風船を上げて、どの位置に人工地盤が見えるかを調査。その結果、住民の方の指摘どおり、景観モニタージュ写真に重大な疑問があることが判明。
建築家榎文彦氏の紹介で、建築家中村勉氏にモニタージュの検証を依頼。
- 9月 16日 日本共産党都議団として、JCSに対し新たな「質問状」を提出。速やかな回答を求める（別紙1）。
- 9月 20日 中村氏より、モニタージュ写真は周辺の高さと整合せず、人工地盤も新競技場も、提出されたモニタージュより高いとの検証結果が寄せられる（別紙7）。
榎氏からも「完成直後の景観はそちらで提出されたものに近いのではないかと思う」とのコメントが寄せられる。
- 9月 30日 日本共産党都議団にJCSから「回答書」が寄せられるが、9月16日付「質問状」の疑問点（質問）への回答は避け、「モニタージュの作成方法」の説明にとどまる（別紙5）。
- 10月 14日 日本共産党都議団に、JSCから「回答書（追加）」と修正したモニタージュ写真が寄せられる（別紙2）。

以上

（2014年10月15日 日本共産党東京都議会議員団作成）